

新しい公共支援事業の成果等報告
 (活動基盤整備支援、寄附募集支援、融資円滑化支援分)

1. 成果等報告

種別	地域別いきいき活動支援ネットワークづくり事業
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 (複数回答可)
事業名	図書館を核としたまちづくり事業
団体名	自立できるふるさとを創造する会
主な活動内容	<p>① 関係団体による実行委員会の定期的な開催</p> <p>② 図書館開館見向けの事業検討のためのワークショップの開催</p> <p>③ 憩いの水辺づくり事業の実施</p> <p>④ シンポジウムの開催</p> <p>⑤ 先進地視察の実施</p>
事業期間	平成24年3月24日～平成25年3月31日
事業内容	<p>① 関係団体による実行委員会の定期的な開催</p> <p>第1回 日 時：平成24年3月24日(土)15時～ 場 所：JAいわみ中央2階会議室 参加者：29名 議 題：参加団体の紹介及び事業の概要について 憩いの水辺づくり事業について</p> <p>第2回 日 時：平成24年4月7日(土)15時～ 場 所：JAいわみ中央2階会議室 参加者：33名 議 題：憩いの水辺づくり事業について</p> <p>第3回 日 時：平成24年5月12日(土)15時～ 場 所：JAいわみ中央2階ふれあいホール 参加者：30名 議 題：憩いの水辺づくり事業について 先進地視察の実施について 図書館を考えるシンポジウムの開催について</p> <p>第4回 日 時：平成24年6月9日(土)15時30分～ 場 所：JAいわみ中央2階ふれあいホール 参加者：43名 議 題：第2回憩いの水辺づくり事業について 先進地視察の実施について 図書館を考えるシンポジウムの開催について ワークショップの開催について</p> <p>第5回 日 時：平成24年7月7日(土)15時～ 場 所：JAいわみ中央2階ふれあいホール</p>

参加者：45名

議 題：憩いの水辺づくり構想について

図書館を考えるシンポジウムの開催について

ワークショップの開催について

第6回 日 時：平成24年8月4日（土）15時～

場 所：JAいわみ中央2階ふれあいホール

参加者：40名

議 題：ワークショップの開催について

第3回憩いの水辺づくり事業の開催について

② 図書館開館見に向けた事業検討のためのワークショップの開催

第1回 日 時：平成24年9月1日（土）13時30分～

場 所：JAいわみ中央2階ふれあいホール

参加者：56名

講 師：三矢勝司名古屋工業大学特任助教

第2回 日 時：平成24年10月13日（土）13時30分～

場 所：浜田市総合福祉センター

参加者：50名

講 師：三矢勝司名古屋工業大学特任助教

第3回 日 時：平成24年11月24日（土）13時30分～

場 所：JAいわみ中央2階ふれあいホール

参加者：44名

第4回 日 時：平成25年1月19日（土）13時30分～

場 所：いわみーる101研修室

参加者：39名

第5回 日 時：平成25年2月16日（土）13時30分～

場 所：JAいわみ中央2階ふれあいホール

参加者：35名

第6回 日 時：平成25年3月30日（土）13時30分～

場 所：いわみーる101研修室

参加者：40名

講 師：三矢勝司名古屋工業大学特任助教

6回のワークショップの開催により、次の行動計画が決定（詳細は別紙参照）

(1) 図書館開館PR作戦

図書館への関心度を高めるため、加盟団体の主催で、月に一度PRイベントを行う。

第1回 日 時：平成25年2月9日（土）18時～

場 所：黒川町集会所

事業名：図書館PR作戦出発式

実施団体：自立できる故郷を創造する会、浜田の食を考える会

参加者：30名

(2) 周辺環境整備

図書館周辺の環境整備を行うことにより、外でも本が読めるような開放的な空間を創出する。

(3) 自然観察ボランティア（天体観測の部）

天体観測を通じて、図書館の情報による学習と屋外での学習を結びつけた活動を行う。

(4) 読み語り行動計画

図書館において、読み聞かせなどを通じて、読書週間を持ち自ら考え行動できる能力を養う。

(5) 多目的ホール等の使い方を考えよう

図書館に設置される多目的ホールやコミュニケーションスペースなどをどのように利用していくのか、市民が自分たちで検討し、提言を行う。

(6) 図書館のトリセツ

市民と図書館の関係を分かりやすく編集した「図書館の取扱説明書」を作成し、図書館が持つ可能性を分かりやすく伝え、市民の図書館活用力向上を目指す。

③ 憩いの水辺づくり事業の実施

第1回 日 時：平成24年4月29日（日）9時～

参加者：約250名

作業内容：浜田川河川敷の草刈り清掃

第2回 日 時：平成24年6月23日（土）8時～

参加者：約150名

作業内容：浜田川河川敷の草刈り清掃及び道路路肩への花の植栽準備

「憩いの水辺で語る会」

日 時：平成24年6月24日（日）18時～

場 所：雨天のため黒川町集会所

花の植栽作業

日 時：平成24年7月2日（月）9時30分～

参加者：石見幼稚園・みのり保育園の園児及び保護者

植栽した花：マリーゴールド、ノースポール、サルビア

第3回 日 時：平成24年10月28日（日）9時～

参加者：約100名

作業内容：浜田川河川敷の草刈り清掃及び河川敷への水仙の植栽

花の植栽作業

日 時：平成24年11月9日（金）9時～

参加者：三階町高齢者クラブ有志の皆さん及び事務局

植栽した花：葉牡丹、ピオラの試験植栽、水仙の追加植栽

花の植栽作業

日 時：平成25年3月25日（月）9時～

参加者：図書館を核としたまちづくり実行委員会及び地元住民有志

植栽した花：ショウブ及び葉牡丹の植え替え

これ以外にも、事務局において、適宜、草刈り、水やり等を行った。

また、浜田県土整備事務所に河川敷の土砂取りや小水路を掘削してもらうなど、行政との協働により、憩いの水辺づくり事業を進めることができた。

④ シンポジウムの開催

第1回「図書館を考えるシンポジウム」

日 時：平成24年7月21日（土）13時30分～

場 所：JAいわみ中央2階ふれあいホール

参加者：約200名

講演①：「これからの浜田市の図書館」

浜田市教育委員会図書館準備室長 島田 正樹 氏

講演②：「地域の情報拠点としての図書館の可能性～こんな図書館、いかがですか？」

鳥取県立図書館支援協力課長 小林 隆志 氏

第1回ワークショップ

日 時：平成24年9月1日（土）13時30分～

場 所：JAいわみ中央2階ふれあいホール

参加者：約60名

講 演：「市民が支える新しい図書館～岡崎市図書館交流プラザ Libra」

名古屋工業大学特任助教 三矢 勝司 氏

第3回ワークショップ

日 時：平成24年11月24日（土）13時30分～

場 所：JAいわみ中央2階ふれあいホール

参加者：約50名

講 演：山陰中央新報社地域開発賞受賞記念講演（実行委員会メンバー）

産業賞：高橋 功一 氏

文化賞：桑田 龍三 氏

第2回「図書館を考えるシンポジウム」

日 時：平成25年1月19日（土）13時30分～

場 所：いわみーる101研修室

参加者：約50名

講演①：「地域が支える図書館づくり」 - ギブ&テイクによるボランティアの継続性 -

元松江市立図書館館長 大矢 幸雄 氏

第5回ワークショップ

日 時：平成25年2月16日（土）13時～

場 所：JAいわみ中央2階ふれあいホール

参加者：約40名

講演①：中四国学校図書館大会について

美川小学校校長 宇谷 緑 氏

講演②：県立図書館及び西部読書普及センターの役割

島根県司書専門員 三田 憲昭 氏

⑤ 先進地視察の実施

第1回 日 時：平成24年6月30日（土）

場 所：岡山県 赤磐市立中央図書館、岡山市西川緑道公園

参加者：40名

旅 程：大型バス借り上げ、日帰り

第2回 日 時：9月3日（月）～4日（火）

場 所：鳥取県立図書館、鳥取市立図書館、倉吉市立図書館、伯耆町立岸本図書館、南部町立天萬図書館

	<p>参加者：5名 旅 程：自家用車、一泊二日</p>	
<p>得られた成果 及び自己評価</p>	<p>※事業の効果、今後の展望等とともに、自己評価を記載してください。</p> <p>事業の効果</p> <p>図書館開館に向けたまちづくりについて、多くの市民の方が、いろいろな角度で考えることができました。また、日頃は図書館に縁の無い方も積極的に参画していただき、まさに「図書館を核とした」まちづくりに一歩踏み出せたと思います。</p> <p>特に、憩いの水辺づくり事業では、行政との協働により、一年前とはまるで違った風景が広がっており、多くの市民の皆さんから評価を得るとともに、これまで手付かずだった地元住民の方も、率先して参加していただけるようになりました。</p> <p>ただ、本来の事業の目的であったネットワークを広げることができたかといえば疑問で、どちらかと言えば、現状のネットワークを何とか繋ぎ止めるのに窮していたように思えます。こうした事業は単年度で目的を達成するのは難しく、複数年度で取り組む事業と考えます。</p> <p>今後の展望</p> <p>まずは、8月の中央図書館開館に向けて、ワークショップで検討されてきたことを、着実に実施に移すことだと思います。しかし、本事業は平成24年度末に終了するため、財政的基盤を失い一時的には停滞する恐れもあります。</p> <p>現在予定をしている「しまね社会貢献基金事業」に速やかに移行できるかが今後の課題と言えます。</p>	
	<p>評価ラ ンク</p>	<p><input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった (該当する評価にレを付けてください。)</p>

2. 添付書類

その他参考となる書類

平成24年度「自立できるふるさとを創造する会」

収支決算書

【 収 入 】

項 目	予算額	予算補正後額	増 減	備 考
県交付金	1,470,000	1,350,087	-119,913	
雑収入	1,000	50	-950	
収入合計	1,471,000	1,350,137	-120,863	

【 支 出 】

項 目	予算額	予算補正後額	増 減	備 考
人件費	400,000	381,330	-18,670	
諸謝金	160,000	150,000	-10,000	
旅 費	310,000	305,230	-4,770	
借損料	150,000	122,300	-27,700	
消耗品費	180,000	172,058	-7,942	
会議費	20,000	0	-20,000	
通信運搬費	30,000	28,644	-1,356	
雑役務費	50,000	36,925	-13,075	
印刷製本費	160,000	153,650	-6,350	
予備費	11,000	0	-11,000	
支出合計	1,471,000	1,350,137	-120,863	